

このたび教育改革推進室におきまして、学部1年生の有志4名と一緒に座談会を行いました。オンライン授業や学生生活のことについて忌憚のない意見を頂きました。今後の学生支援のあり方の参考にいたします。以下、全文を紹介します。

二宮 祐（教育改革推進室 准教授）

2020年学部1年生有志座談会

実施日：2020年11月10日（火）夕方約60分

参加者：二宮、アールさん、ルートさん、ユーエムエー（UMA）さん、デルタさん

（学生の名前は座談会当日に決めたニックネームです）

目次

1. 大学に入ってよかったこと
2. 大学生になった実感
3. オンライン授業の感想（1）—授業時間中の問題
4. オンライン授業の感想（2）—課題に取り組むときの難しさ
5. オンライン授業のよい点
6. 友だち付き合いのこと

1. 大学に入ってよかったこと

二宮 まず最初に、群馬大学に入ってよかったなっていうのがあれば教えていただけますでしょうか。

アールさん じゃあ私、話します。うまく話せるかわかんないんですけど、オンライン授業で最初やっぱり不安なこともたくさんあったんですけど、授業開始日の前に、チューターの先生がZoomの練習をしてくださって、そうやって授業の始まる前から安心できるようにサポートしてくださったのは、すごくありがたかったなと思いました。

二宮 それは授業ですか。

アールさん 4月の授業が開始される前に、チューターの先生から連絡がきて、授業前に使い方がある程度わかるようにというのも含めて、やってくれました。

二宮 授業とは関係ないんですね。

アールさん 本当に雑談というか（笑）。

二宮 そうだったんですか。

アールさん そこで同じ学年の学生とLINEの交換もさせていただいたりして、すごく安心できたなと思いました。

二宮 LINEの交換って、具体的にどうやって交換しました？

アールさん チューターの先生が、LINEグループとかに入れるかを聞いてくださって、学生は3人参加

していたんですけど、1人は入っていて、私ともう一人は入っていなかったの、先生に仲介してもらって、メールでLINEのバーコードを送り合って、交換して入るっていう（笑）。

二宮 （笑）、メールで。

アールさん そうです。大学のメールを使って。

二宮 3次元バーコードを送ったんですかね。

アールさん そうです（笑）。

二宮 （笑）、なんだか面倒です。でも、そうやるしかないのかな。

アールさん 後でカメラに映せばできるってこともわかったんですけど（笑）。そのときは慣れていなかったの。

二宮 それで、1年生同士でつながることができた感じですかね。

アールさん そうです。

二宮 なるほど。安心できましたよね。

アールさん はい。

二宮 LINEを使うことにちょっと嫌だとか、抵抗とかってありませんでした？

アールさん でもやっぱりオンラインだと会えないので、先生に質問するほどでもないっていうようなこととか、同級生であれば聞きやすいので。Twitterでつながるのは不安だったんですけど、LINEで先生を介しているの、あんまり抵抗はない感じでした。

二宮 たとえばTwitterだと、もしかしたら不安があるかもしれませんよね。

アールさん そうです。それで私は迷ってやらなかったの。

二宮 ありがとうございます。ほかの方はどうでしょう？群大に入ってよかったこと。

ルートさん 授業でよかったことになるんですけど、授業をぜんぶ生配信、リアルタイムでやってくださったっていうのが、私にとってはよかったです。

二宮 そうですね。基本的にはライブでした。

ルートさん はい。他大ではファイル配信でお昼から受け始めたら、真夜中になってしまったとか、生活リズムが崩れてしまったということを聞きます。リアルタイムの場合、対面の授業とあまり変わらないような生活リズムで授業に参加できているのがいいなと思います。

二宮 他大に進学した知り合いに連絡していますか？

ルートさん はい、いちおう連絡は。

二宮 オンデマンド方式や、映像がなくて紙、PDFの資料だけの講義を行う大学もあったようですけども、なかなか大変そうですね。

ルートさん そうですね。先生の顔が見えたりすると、今何しゃべってるのかすごくわかりやすく、うれしいです。

二宮 それは実はお尋ねしたかったことなんですけど、先生の顔は見えただけがいいですか。

ルートさん どうだろう。私は見えただけが好きなんですけど。ただ人数が多い授業だと、先生が顔を出した途端にカメラが止まるといった問題もあったと聞いていますので、そうであればカメラはない方がいいけど、大丈夫そうならば、しゃべっている口調などで、次に何をしゃべるのかとか

がわかりやすくなるので、カメラはあったほうが、私としては進めやすいなって思います。

二宮 ちなみに、学生がカメラで顔を出すことについて、何かお考えとかありますか？嫌だとか。

ルートさん 私が履修しているある授業ではブレイクアウトルームを使うことが多くて、それは学生同士で話し合うことがメインなので、もちろんカメラがないとつらいんですけど、個人的にはあんまり顔を出したくないっていうのがあって、カメラオンが求められる授業でも結局みんな頭だけしか映してないとか。

二宮 頭だけしか映してない？

ルートさん そう、カメラはあまり役に立ってない気がする。カメラの位置を調整して（笑）、顔がぎりぎり映らない位置にしている学生もいて。講義を聞いているだけの授業だったら、そんなに意味がないのかなって思いました。

二宮 そうすると学生の側も、カメラオンにしなさいって言われても工夫をするわけですね。

ルートさん （笑）、人によってはって感じです（笑）。

二宮 まあ工夫しますよね（笑）。

ルートさん そういう人も、まあ。

二宮 ありがとうございます。ほかの方、どうですかね。群大に入ってよかったこと。

一同

2. 大学生になった実感

二宮 特にないですかね。では、質問を変えて、大学生になったなあっていう実感みたいな持ったきっかけとか、経験とかってあります？大学生っぽいなって。どうでしょう？

UMA さん 大学生っぽいなっていうか、自覚を持ったきっかけは、やっぱり一人暮らしが大きいかなと思います。

二宮 確かに大学生っぽいですよね。

UMA さん そうですね。

二宮 ご実家、具体的な場所は言わなくてもいいですけども、結構遠いですか。

UMA さん そうですね、遠いです。

二宮 そうすると家族と離れて群馬に住むということは、高校のときとはまったく違う生活になりますよね。

UMA さん そうですね。

二宮 楽しいですか、一人暮らし。

UMA さん いや、どうですかね。通常と比べて引きこもっているんで、その中で楽しんでいるかと言われれば、楽しい気はするんですけど、通常より楽しめているかって言われると、はてなっていう感じです。

二宮 一人暮らしをして、そのうえで友達の家に行ったり、友達が来たりするってことが、もっとたくさんできればいいんでしょうけどね。

UMAさん　そうですよ。

二宮　　もう一人暮らしには慣れました？

UMAさん　ある程度は（笑）。

二宮　　ある程度？

UMAさん　はい。

二宮　　一人暮らし、高校のときからしたい感じでした？

UMAさん　はい、そうですね。

二宮　　よかったですね。

UMAさん　はい。

二宮　　確かに一人暮らしはそうだよ。すごい楽しい。大人になった感じしますよね。

UMAさん　（笑）

二宮　　ありがとうございます。ほかの方、どうですか。大学生になったなって感じること。

アールさん　私は前期から実習の授業があったので、実習をしてレポートを書くっていう作業をしたときに、大学生になったなっていう実感がいちばんわきました。

二宮　　高校の勉強とは、同じ勉強という名前でもぜんぜん違うことをやってるからですかね。

アールさん　そうですね。ただ授業を受けてレポートを書いているだけだったら、高校でもないことはなかったですけど、データを見たりして自分で考えるっていうのは初めてだったので、うれしかったです。

二宮　　たぶんそうですね。受験勉強みたいに暗記するっていうのでもないし、データを見て、自分で頭を使って考えなきゃいけない感じですかね。

アールさん　はい。

二宮　　学部学科によるけれども、実験や実習が1年生からあるところだと、それが実際にできるといいですよ。

アールさん　はい。

二宮　　実は今年、やはり問題になっていたのは、皆さんもご存じのとおり実験や実習をどうしようってことだったんですよね。家でできないので。

アールさん　（笑）

3. オンライン授業の感想（1）—授業時間中の問題

二宮　　では、そろそろ次、オンライン授業についてお尋ねします。前期と、今、後期の半分ぐらいオンライン授業を受けて、こういうことが問題だ、できていない、ちょっと工夫が必要だろうっていうことがあれば、ぜひ、もうぜひぜひ教えていただければ、大学に伝えたいと思っていますので、皆さんご意見どうでしょうか。

デルタさん　これは主に理数系の授業なんですけど。

二宮　　はい。

デルタさん 教室で行う授業であれば、隣に座っている学生と解答を見せ合ったりとか、わからなかったところを質問できたりっていうことがあると思うんですけど、家でパソコンに向かって勉強しているとすぐ疑問を解消できないので、その点はオンライン授業の弱みだなと思います。

二宮 教室ならば、たとえば数学の問題を解いていて、わからなければ横にいる友だちに聞けるわけですよ。だけどオンライン授業だと、それができない。ちょっとした疑問とか、質問ですよ、たぶん。

デルタさん そうなんですよ。わざわざ聞く…。

二宮 わざわざメールで聞くようなことじゃない？

デルタさん そうなんですよ。

二宮 そう、それなんですよ。しかも数式を使う場合、LINE で入力とかできなかつたり。

デルタさん そうですね。

二宮 確かに難しいですよ。どうすればいいですかね。授業中にちょっとした質問を受けつけるコーナーとかがあればいいですかね。

デルタさん 結構先生も、「質問ないですか？」って呼びかけたりするんですけど、やっぱりちょっとハードルがあるというか。

二宮 わかります（笑）。

デルタさん そういうのがあるので。

二宮 先生に聞かれたら、なにか難しい質問をしなきゃいけないみたいな感じとかですかね。

デルタさん そうですね。

二宮 こんな質問しちゃいけない、だめかなとか。だから、友だち、知り合い同士で考えて解決できるような仕組みがあればいいんですかね。先生に聞くまでもない。横にいる友だちに、ちょっと聞けるようなインターフェースみたいのがあるといいですかね。

デルタさん そうですね。

二宮 おそらく数学とか、物理とかですよ。

デルタさん そうですね。一緒だと思います。

二宮 化学とか、自分で考えて問題を解かなければいけない。答えがあらかじめ決まっていて、だけど答えまでたどり着けないような感じですよ。

デルタさん そうですね。

二宮 それはすごく重要な問題ですよ。ありがとうございます。ほかの方はどうですか。オンライン授業の問題点とか、何か困ったことがあったとか、ご自身が経験していなくてもいいです。人から聞いたとかでもいいです。どうでしょう？

ルートさん 一部の授業で動画を見るものがあるんですけど、スムーズに流れないときがあって、細切れみたいになって。ひどいものだと内容すらわからないときもあって、それがもったいないなって思うのが結構あります。

二宮 カクカクしちゃうやつですよ。

ルートさん はい。

二宮 どうすればいいのかな。ただZoomだとどうしても、結構カクカクしちゃうんですね。

ルートさん そうですよ。

二宮 ぜんぜん内容がわからないっていうの、よくないですね。

ルートさん そうですね。授業が終わったあとに自前で見られればよくわかるのにつて、ちょっと思います。

二宮 たぶん、そうですね。授業後にもう一度見ることができるといいですよ。たとえば容量の問題があるんですけども、Moodleに上げるとか、著作権などの問題がない場合にはYouTubeに上げてもらうとかですよ。せっかくパソコンを使っているのに動画が見つらなくて、もったいないですよ。それもどうすればいいんだろうな。でも、ありがとうございます。

ルートさん ありがとうございます。

4. オンライン授業の感想（2）—課題に取り組むときの難しさ

二宮 ほかの方は、どうですか。オンライン授業の問題点、何かありますか。困ったこととか、大変だったこととか。では、質問を変えますね。宿題って多かったですか。宿題というか、授業時間外でやらなければいけない勉強ですね、いろいろ。たとえばそれが多かった場合に、大変だったかどうか、多くても大丈夫だったのか、そのあたりを教えていただければと思います。

アールさん 私はあまり多いとも少ないとも感じなかったです。やっぱり慣れていないところがあったので、プレゼンテーションを自分で作る授業とか、レポートとかは、少し時間がかかって大変だなと思ったんですけども、自分で管理をするのが大学生なのかなというふうに受け入れられたので、できる範囲内の量ではあったとは思っています。

二宮 できる範囲の量であった。

アールさん はい。

二宮 高校のときの勉強時間と比べて、どうですか。多いですか。少ないですか。

アールさん 高校の頃は部活をやっていたので、引退するまではほとんど勉強できてなかったの。

二宮 (笑)

アールさん (笑)、それに比べたら勉強する時間はあるかなと思いました。

二宮 今すごくいいポイントのお話で、パワーポイントを作るとか、レポートを作るとかって、終わりがいい感じしません？そんなことはないですか。

アールさん あります(笑)。

二宮 どこまでやればいいのかって、わかりづらいですよ。

アールさん はい。

二宮 どれだけ時間をかければ大丈夫なのか。難しいと思いませんか？

アールさん 思いました。レポートはまだよかったんですけど、パワーポイントをあまり作ったことがなかったの、アニメーションの機能とかもあまりわからなくて(笑)。いろいろ調べて一回作ったものも、本当にこれでいいのかって、やっぱり提出してからも何回も不安になったりとかし

て、そこはちょっと困ったなと思ったんですけど、実際に発表した際に「こういうふうにして作ってみたらどう？」って先生からアドバイスをいただいたので、そういうのがあると、ちょっと助かったなと思いました。

二宮 先生のアドバイスがモデルというか、ひな型みたいな感じですかね。

アールさん そうです。最初に説明していただいたので、とりあえずそのとおりに作ればっていう気持ちがあったので。ただ授業によってはレポートも、提出したら出しっ放しみたいなときは、次に書くときにどうしたらいいのかなってというのはちょっとあったので、なるべくアクションを返していただけると、ありがたいなとは思いました。

二宮 レポートを提出しても、そのレポートが良い評価だったのか、悪い評価だったのかわからないし、わかったとしても、何が良かったのか、何か悪かったのかってというのが、学生には教えられていないってことですよ。

アールさん そうです。

二宮 改善のしようがないんですよ。

アールさん 前期の成績が返ってきたときに、大丈夫だったんだって安心するみたいな

二宮 でも成績だけを見ても、レポートのどこが良かったのかわかんないですよ。

アールさん はい。

二宮 だからフィードバックがないっていうのは、問題ですよ。

アールさん 一言だけでもあると、かなり違うかなとは思います。

二宮 ですよ。ありがとうございます。ほかの方、どうですか。宿題のこととか、あと今紹介にあった成績評価のこととかで、ちょっと不安だったとか、困ったとかっていうことありますか。

UMAさん たとえばなんですけど、課題としてレポートを2枚とかっていうふうに出されたときに、どこまでが2枚なのかっていう問題があつて。

二宮 (笑)

UMAさん それを周りの人に聞こうにも、やっぱりオンラインなのでなかなか聞けないっていう問題があつたかなと感じました。

二宮 2枚といっても、字の大きさとか、余白の取り方によって違うだろうって意味ですかね。

UMAさん そうですね。それもありません。

二宮 紙の大きさでも異なるので、戸惑いますよ。

UMAさん そうです(笑)。

二宮 いや、2枚ならわかるけど、どう2枚なのさっていう説明が必要なわけですよ。

UMAさん はい。

二宮 たぶん2年生になると、2枚って言われたときに、もう相場感がわかるので、2枚ってこれぐらいだろうなってわかるので、いちいち先生は説明しないんだけど、1年生には伝えたほうが良いですよ。

UMAさん そうですね。

5. オンライン授業のよい点

二宮 今度は逆にオンライン授業でよかったこと、メリットって何かありますか。オンラインだからよかったとか、オンラインだからこういうことが自分にとっては助かったみたいなことがあれば、ぜひ教えてください。

ルートさん メリットはやっぱりオンライン授業なので、みんなが同じ条件で受けられるというか、対面だとどうしても近い席と遠い席で差が出るような気がして、先生の説明の声の聞こえ具合とか、スライドの見え具合とかに差が出てしまうと思ったので、いつでもいちばん近くで先生の説明を聞けるっていうのは結構ありがたいなと思っていました。

二宮 ネットで他の大学の学生の意見を見ていると、それは確かにありましたよね。いちばん前で聞いている授業の感じがするっていうことですかね。

ルートさん はい、そうです。

二宮 だから資料なんかも見やすいと。それは確かにありますよね。でも、皆さんにお尋ねしたいんですけれども、かえって目が疲れることはなかったですか。

ルートさん それは結構あります。特に最初の4月5月、本当に毎日疲れ目がひどくて、目薬をすごく何回も1日にさして乗り切るみたいなのが多くて。最近は結構慣れてきたんですけど、やっぱり視力が低下したなって感じることはあります。

二宮 視力が低下した。目薬をさせば、何とかなる感じですかね。

ルートさん ずっと授業をパソコンで見続けるので、やっぱり近くに焦点が合ってしまって、遠くがちょっと見づらくなったなっていう感じです。

二宮 それって慣れるようなものですか。慣れました？

ルートさん 疲れ目とかは、最近はなくなりました。

二宮 慣れたってことですかね。

ルートさん はい、おそらくそうだと思います。

二宮 やっぱり一長一短ありますよね。

ルートさん はい。

二宮 いいご意見ありがとうございました。ほかの方、どうでしょう？オンラインの授業だからよかったこととあってありますか。

デルタさん 準備に時間をかけなくていいっていうのはあると思いますね。実際の教室に行く場合だと、大学の教科書は大きくて重くって、これを毎日持っていくってなると結構大変なんじゃないかなって思ったりもして。でも今、家に忘れ物をすることもなく、かなり楽なんじゃないかなと思います。

二宮 大学に通学する準備ですよ。

デルタさん そうですね。

二宮 朝起きて身だしなみを整えて、その日の時間割にそろえて、教科書とノートをかばんに入れるって話ですよ。

デルタさん　そうですね。

二宮　大学の教科書は、学部学科によってはすごく重くなりますからね。それは確かにメリットかもしれないですね。あとはおそらく遠くに住んでいる学生にとっては、通学時間が減らすことができたってのもあるんですかね。

デルタさん　あるんじゃないかなと思いますけど、私は一人暮らしで、大学まで近いところに住んでいるのでそれはないんですけど、県外から通っている人もいるので、そういう人は登校時間の節約にもなるんじゃないかなって。

二宮　ですよ。ありがとうございます。ほかの方、どうですかね。

アールさん　やっぱり時間に余裕があるっていうのが大きいなと思って、私も一人暮らしをしているんですけど、授業が終わって、すぐもう自分の時間になるので。

二宮　（笑）

アールさん　夜遅くなる前にいろいろやりたいことをできちゃったりとか、あと空きコマのときにちょっと掃除をしたりとか、そういうこともできたりするのはありがたいなと思うんですけど、やっぱりその反面、ちょっと時間のメリハリをつけるのは、自分で注意してやらないと。だらけようと思ったら、いくらでもだらけちゃうので。

二宮　（笑）

アールさん　そこはちょっと難しいなって思います。先ほどの話にもあったんですけど、パソコンをずっと見ていると目が痛くなったり、私はどっちかっていうと頭が痛くなっちゃってて、それはすごくつらかったなとは思います。

二宮　頭が痛くなるのも、ありますね。

アールさん　はい。

二宮　時間の使い方が、より自由にできる感じですかね。

アールさん　はい。

二宮　ちょっとさぼろうと思えば、さぼれちゃうこともあるわけですよ。

アールさん　はい。

6. 友だち付き合いのこと

二宮　でも、いかにもそれこそ大学生っぽいかもかもしれませんね。自分で時間をマネジメントしないといけないですよ。少し話は変わるんですけども、だいぶ時間が過ぎてしまいましたけど、皆さん夏休みはゆっくり休めましたか。大学の夏休みは長いです。学部学科によって少し違いがありますけれども。

アールさん　ゆっくりできました。

二宮　よかったですね。言える範囲でどんなことされました？夏休み。

アールさん　夏休みは地元へ帰省していたので、何度か地元の友だちと話してリフレッシュすることができたり、自分の趣味の時間を取れたりしました。あと、前期の授業でちょっと不安だったところ

があったので、それを勉強したりと、有意義に使えたかなとは思いますが。

二宮 地元に戻る学生は、そこで夏休みに友だちと少し遊んだりもできた感じですかね。

アールさん はい、少しできました。

二宮 ですね。ほかの方、どうですか。夏休みはうまく休めましたかね。自動車の免許とか、取った方いますか。

ルートさん 私、取りました、免許。

二宮 夏休みに？

ルートさん はい。地元の教習所に夏休み前から通っていたんですけど、本格的に教習を夏休みに毎日入れて、取れたという感じです。

二宮 おめでとうございます。

ルートさん ありがとうございます。

二宮 それもなかなか大学生っぽくっていいですね。夏休みに免許を取る。まだ取られていない方は、いちおう皆さん知ってると思いますけれども、多くの学部学科は2年生になるとすごく忙しくなるので、できれば1年生のうちにとっておくといいかもしれないという話もあります。では今日最後のテーマとして、いちばんお尋ねしたいところなんですけれども、友だちづき合いについて皆さんの考えを聞かせてください。大学に入って、大学の友だち付き合いってというのは、やっぱりなかなか難しいものがありましたか。どうでしょう？

デルタさん やっぱり難しいなと思いますね。私はある科目で、前期と後期1年間かけて履修するっていうのがあるんですけど、たぶんそういうのを実際に会っていたら、ある程度知り合いになれたりとかっていうのもあると思うんですけど、顔も出さないでやってるので、もう名前と声ぐらいしかわかんないっていう感じで。たぶん今会ってもわかんないだろうなって（笑）。そういうの何かもったいないなって思いますね。

二宮 せっかく同じ群大生なのにね。

デルタさん そうですね。同じ授業を履修しているって共通点もあるのに、もったいないと思いました。

二宮 そういう授業で、LINEのグループ作ったりとかはしないですか。

デルタさん LINEのグループを作ったのはある講義だけで、たぶんの担当の先生が調整してくれていたんだと思うんですけど、でもその他は…。

二宮 それ先生が作ったってことですかね。

デルタさん 作ったのは生徒のグループで。

二宮 学生？

デルタさん 学生だけなんですけど、作るように仕向けてくれるっていうか、作ったらどう？みたいなふうに言ってくれたみたいな。

二宮 そういうLINEは、知り合いを増やすのに役立つ感じします？そうでもない？

デルタさん 私自身があんまりグイグイと連絡を取るほう性格ではないので（笑）。でも授業のペアワークで、グループLINEから個人LINEのほうに移って、その2人の会話っていうのをやったりとかするものもあるので、それだと知り合いにはなれたって感じることもありました。

二宮　　それでそういう知り合いと、勉強のやり方を相談することってあります？試験の情報交換とか。

デルタさん　今のところはないですね。でも、グループだとある授業に限るんですけど、「課題の提出がいつまでかな」とか「先生は今日説明しなかったけど、この内容はこういう意味だよ」みたいな話は入るので、それはかなり役立つなって思いました。

二宮　　聞き漏らしてしまったこととかがもしあれば、そこで確認できる感じですかね。

デルタさん　そうですね。

二宮　　LINE グループ、授業ごとにあったほうがいいんですかね。でもたくさんあると、逆に面倒かな。どうだろう？

デルタさん　学部ごととか、あとはクラスもあるじゃないですか。そういうグループとかあってもいいんじゃないかなって。

二宮　　ないのですか？

デルタさん　履修が一緒っていうのはあるんですけど、クラスの LINE グループもないですし、クラスで何かホームルームみたいなことをやっているっていうこともないです。私のところでは。

二宮　　たぶんみんな大体似た講義を履修しているだろうから、そこで情報交換もできそうですけどね。学生の誰かが音頭を取って、作ってたって言ってくれればいいんでしょうね。じゃあ、そうすると今、高校までの友達との付き合いのほうが、やっぱり多い感じですかね。

デルタさん　私はそうですね。高校までの人との場は多いかなと思います。

二宮　　その人たちは、もしかすると進路は別ですよ。

デルタさん　大学、そうですね。全員別ですね。

二宮　　全員別。

デルタさん　そうですね。

二宮　　全員別か。では、あまり授業の情報とか、やり取りできないですよ。

デルタさん　そうですね。アバウトな相談だったらできるんですけど、オンライン授業のことで。そういうのは結構気休めになるっていうのはあるんですけど、具体的な話とかはできないです。

二宮　　そうですね。大学が違ったら、当然そうですね。ありがとうございます。

デルタさん　ありがとうございます。

二宮　　ほかの方、どうですか。友達付き合いに関して、何か言いたいこと、言っておくべきこととか、何か教えてください。

アールさん　私は同じ専攻で、LINE グループがわりと早い時点で先生方が協力してくださったこともあって、クラスの全員が入っていたので、その中でゴールデンウィークあたりの時期に、クラスで Zoom で交流会とかを開いてくださる学生がいて、顔と名前がだいたい一致できるようになりました。あとは授業の情報だったり、テストの情報をみんなで共有したり、中間試験の前には Zoom でつないでみんなで一緒に勉強したりとかもできて。

二宮　　へえー、すごい。

アールさん　そういうことができたので、実際に会ったときにも、仲良くなるまでに短い時間でできたかなとは思っています。

二宮 学生が大学とは関係なしに進めた感じですかね。

アールさん そうです。勝手にクラスの中でやろっかみたいな感じになって。

二宮 すごいですね。

アールさん たぶん、もともと仲の良い学生たちで企画して、クラスのほうに持ってきてくれたっていう感じなんですけど。

二宮 仲良くなるのも大事なんだけど、一緒に勉強するっていいですね。

アールさん やっぱり最初のテストで、ちょっと不安だったこともあって、みんなでやろうってなりました。

二宮 それはすばらしいですね。

アールさん でもやっぱり同じ専攻ではそういう絡みがあるんですけど、他学部とか、他専攻ってなると、ちょっとまだあんまりないかなという気はして・・・。

二宮 特に1年生の授業で、他学部とか、他学科の学生と一緒にいる、受けるような授業だと、そういうまとまりが作れない感じですかね。

アールさん そうですね。やっぱり総合大学なので、ほかの専攻、学部の学生たちとのかかわりを楽しみにしていたところもあったので、教養の授業も1年生で終わってしまうから、残念だったなとは思っています。

二宮 そうですね。群馬大学を志望する理由の一つは、いろんな学部や学科があるからっていうのありますもんね。

アールさん はい。

二宮 でも、学部学科によってはそれぐらいのまとまりで、そういう Zoom 上での集まりとか、勉強会をしていることもあるわけですね。

アールさん はい。

二宮 これはいいことですね。ただし、学部学科の枠を越えるとなると、なかなか難しい。

アールさん そうですね。

二宮 ですよ。でもとてもいいことを聞きました。ありがとうございます。すごくとってもヒントになります、これは。

アールさん ありがとうございます。

二宮 ほかの方、どうですかね。友達付き合いについて。

UMA さん やっぱり地元が遠いっていうのもあって、なかなか大学にも来られず、知り合いを作るきっかけっていうのがないと、難しいですね、友達付き合いのスタート地点に立てないっていうか。

二宮 ですよ。特に地元が遠い学生だと、やっぱり厳しいですよ。

UMA さん そうですね。

二宮 そうはいつでも、皆さん LINE とか、ほかの SNS とかも使っていると思うんですけども、さっきちょっと話がありましたけれども、SNS を使うことに対する抵抗感ってありますか？たとえば、もしかしたら高校まででは、学校の先生があまり SNS を使ってはいけないって言っていたこともあるかもしれないんですけど、どうでしょうか。

UMAさん 私はSNSに関しては、LINEだけで済ませたいタイプなので。

二宮 LINEだけで済ませたい。

UMAさん そうですね。ほかのものはあまり使いたくないというか、抵抗感が（笑）。

二宮 （笑）、それは怖いとか、そういう感じですかね。

UMAさん そうですね。勝手に誰かに入ってきてほしくないっていうか（笑）。

二宮 わかります。大学の先生の中には、もう学生なんだから、どんどんSNSを使って友だち作ればいいじゃんって言う人もいるんですけども、今UMAさんが言ってくれたように、ちょっとそれが嫌だなんていう学生もいると思うんですよね。ほかの方、どうですかね。

ルートさん 私はいちおうアカウントは高校のときから持ってて、ずっとやっているんですけど。SNSを使うことじたいには特に抵抗はないんですけど、それで友だちを作れと言われると、ちょっと困りますというか。

二宮 （笑）

ルートさん 知っている人になら、別に自分の情報を与えても、学部学科がどことか、名前はこうっていうのはいいんですけど、プロフィールに大学、学科が書いてあっただけで、その人ともし相互にフォローできたとして、そこで友だちになるかと言われると、ならないっていう感じです。

二宮 先にリアルな関係性が大事な感じですかね。

ルートさん 私は先にリアルな、会っていないと怖いなっていう感じはします。

二宮 それでリアルなところで仲良くなれば、SNSの交換してもありって感じですかね。ありがとうございました。それでは約束の1時間なので、今日はこれぐらいで終わりにしておきたいと思えます。今日皆さんに教えてもらったことは、おそらく皆さんの中では当たり前、18歳、19歳の若者が持っている、すごく当たり前の話を皆さんはしていたかもしれませんが、この当たり前のことが大学の先生とか、職員さんにはたぶんわからない、知らない世界なんですよ。ぜんぜん知らない世界。なので、今皆さんが言ってくれたことは、極めて重要なことばかりで、これは私としては、ぜひ大学へ伝えなければいけないという強い思いを持っています。本当に今日は、ありがとうございました。お疲れ様でした。

一同 ありがとうございました。